



海軍中將四位勲二等功三級男爵坪井航三
特旨ヲ以テ位一級被進

正四位勲二等功三級男爵坪井航三
敘從三位

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治三十一年一月三十一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文



閣

海一七

一月三十日裁可一月廿三日施行

明治廿一年一月廿一日

内閣書記官

内閣總理大臣

伊藤

内閣書記官長

海軍中將山口四位勲二等功三級男爵坪井航三
明治七年八月海軍少佐、出身爾來海軍
軍務、從事二十年以上功勞顯著、
者、有之、此目下病氣危篤、趣付叙位
進階、内則第五條、依位一級進、然、
ハ

内

閣

海軍中将正四位勲三等男爵坪井航三

叙從三位
右謹テ奏ス

明治三十一年一月三十一日

海軍大臣侯爵西郷從道



海
軍

坪井海軍中將ハ明治四年海軍出身以來軍務ニ従事スルニ茲ニ二十有七年其間拮据精勵能ク其職ヲ盡シ殊ニ日清戦争ニ關シ功勞顯著ナル者ニ候處目下病氣ニ罹リ存命無覺東ニ付叙位進階内則第五條ニ依リ特ニ位一級進メラレ度別紙上奏書進達ス

明治三十一年一月三十一日

海軍大臣候爵西郷從道



内閣總理大臣候爵伊藤博文殿

海軍